

令和2年度市民意識調査結果（報告書の確定版から）

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

佐倉市では、将来都市像『笑顔輝き 佐倉 咲く みんなで創ろう 「健康・安心・未来都市」』の実現に向けて、「市民協働の加速化、持続可能なまちづくり」、「健康寿命の延伸・生涯活躍の場の創出」、「子育て世代の流入・定住促進、子育て支援施策等の維持拡充」、「計画的な施設・インフラ整備の促進、持続可能な財政運営」を重点目標として掲げ、各種施策に取り組んでいる。

本調査は、佐倉市の取組等に対する市民の皆様からの率直なご意見等をお聞かせいただき、施策の実施・評価の参考とすることにより、行政サービスの向上を行いながら、将来像の実現を図るために実施するもの。

(2) 調査の設計

この調査は、以下「調査種類」欄に記載している①と②の2つの調査から構成（各調査の対象者数は2,000名で、調査ごとの回答者は2グループに分かれる）。

調査地域	佐倉市全域
調査対象	市内在住の18歳以上の男女
調査種類	①福祉・健康・教育編 ②まちづくり・地域活動・産業編 ※各調査共通：属性、自由意見等
対象者数	各調査2,000名（合計4,000名）
抽出方法	住民基本台帳から層化多段無作為抽出
調査方法	郵送配布・回収
調査期間	令和2年7月28日～令和2年8月24日

(3) 配布・回収結果

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率	前回回収率（R元）
①福祉・健康・教育編	2,000	718	35.9%	30.1%
②まちづくり・地域活動・産業編	2,000	768	38.4%	33.2%
合計	4,000	1,486	37.2%	31.6%

(4) 見方

- 「構成比」は、各項目の回答数を回答総数で除し、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。このため、構成比の合計が100%にならないことがある。
- 自由記載回答は、同様の回答内容の集計や誤植の修正等を行っている。

(5) 調査項目

- 第4次地域福祉計画の成果指標として、2つの設問を実施（P2～3）。
- 包括的な支援体制の検討に向けて、2つの設問を実施（P4～9。自由意見は、P5～9）。
- 【民生委員・児童委員】に関する2つの設問を実施（P10）。

2. 調査の結果（抜粋）

（2）福祉・健康・教育編

問 14

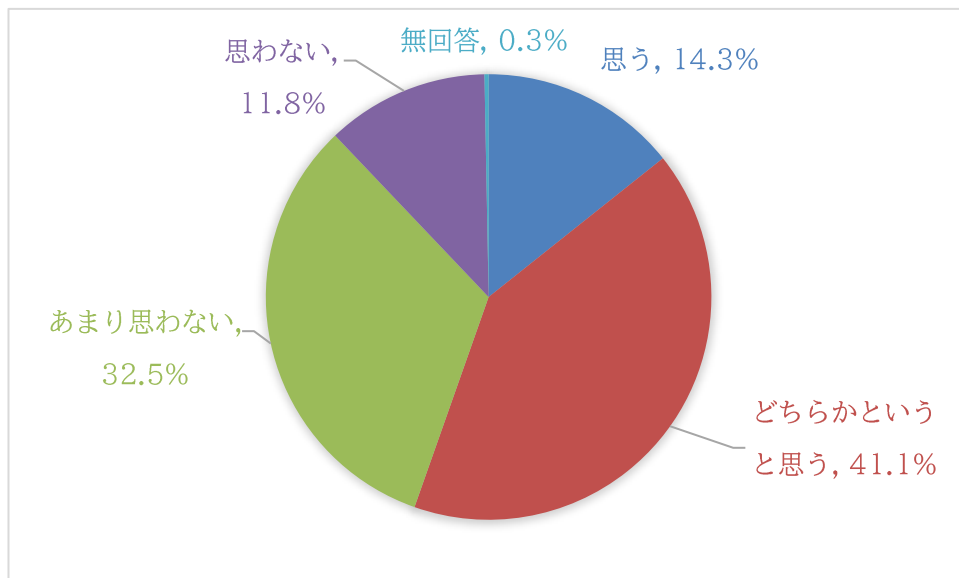
「災害時等に、支え合いや助け合いができるような、住民同士の交流やふれあい（日頃の挨拶などを含む）が日頃できていると思いますか。」【1つ選択】

※第3次地域福祉計画の成果指標として、【住民同士の気づかい】・【住民同士の交流】が「…できていると思いますか。」と実際の「行動」を聴いていた2問を1つにまとめた設問とした。

※第4次地域福祉計画の成果指標は、「住民同士の交流やふれあいができていると思う・どちらかというと思う意識」。

	令和2年度	成果指標	目標値（令和5年度）
思う	14.3%	55.4%	60.0%
どちらかというと思う	41.1%		
あまり思わない	32.5%	—	—
思わない	11.8%	—	—
無回答	0.3%	—	—

令和5年度の目標値に近い結果となっていますが、「あまり思わない」と「思わない」も一定数あります。



問15

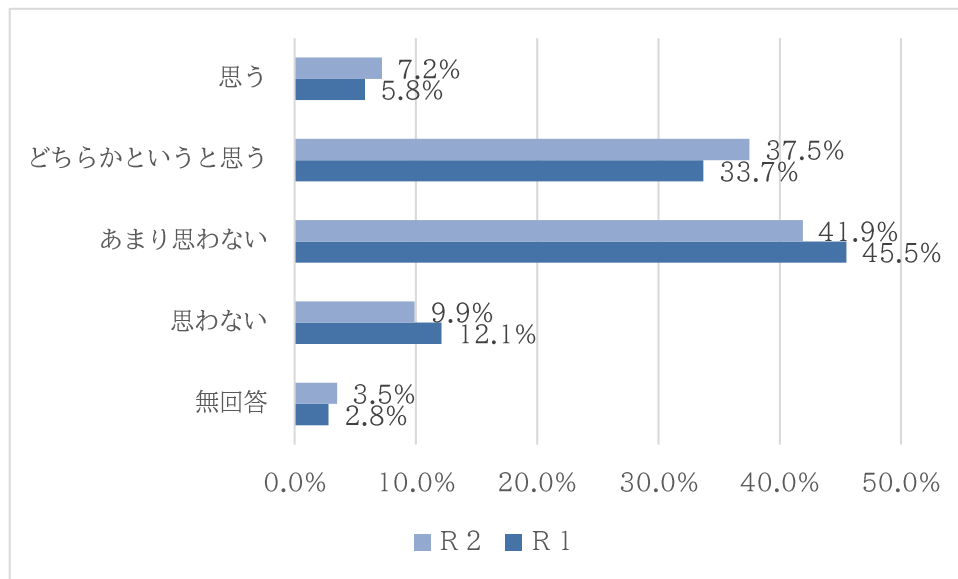
「介護、子育て、障害、病気やひきこもりなどについて、相談したいことがあったときに、相談できる場、支援を受けることができる環境等が整備されていると思いますか。」

【1つ選択】

※この設問は、包括的な支援体制の検討に向けて、平成30年度から実施。設問の表現は令和元年度に変更し（設問を具体的に記載）、令和2年度は変更なし。第4次地域福祉計画では成果指標。

	令和元年度	令和2年度	成果指標	目標値（令和5年度）
思う	5.8%	7.2%	44.7%	45.0%
どちらかというと思う	33.7%	37.5%		
あまり思わない	45.5%	41.9%	—	—
思わない	12.1%	9.9%	—	—
無回答	2.8%	3.5%	—	—

令和5年度の目標値とほぼ同じ数値となっています。また、「あまり思わない」と「思わない」の数値も、減少しています。



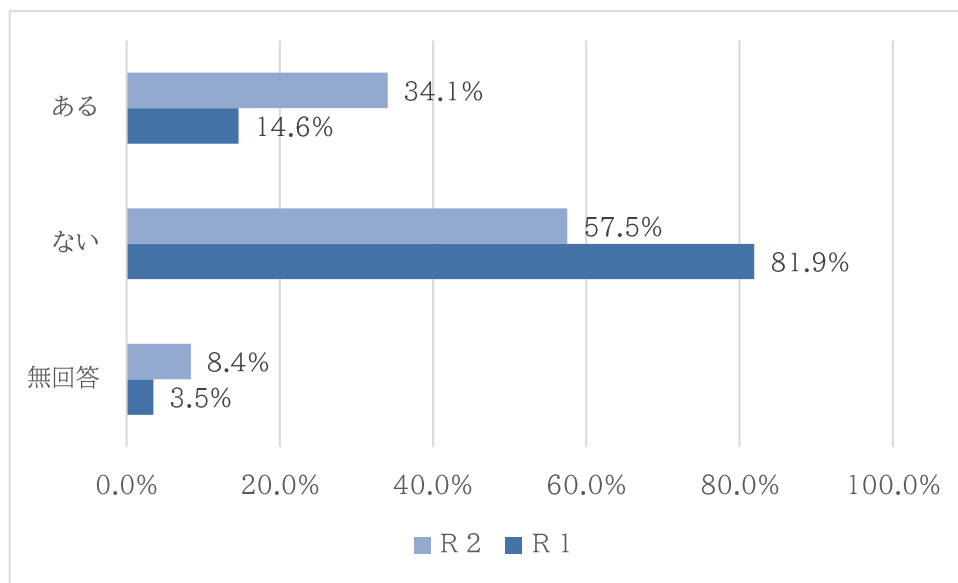
問 16

「前問に関連して、現在、相談ができる、支援を受けられる状況にありますか。」【1つ選択】

(※) 主な相談機関の例：地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、子育て世代包括支援センター、くらしサポートセンター佐倉（生活困窮者自立相談支援窓口）など

※社会福祉課は、「前問に関連して、現在、相談をする、支援を受ける状況にありますか。」で質問作成依頼をしたが（問15で、環境等の整備を聞いたうえで、問16では、実際に相談をする、支援を受ける状況であるかを聞く意図）、全体の表現を確認する過程で、市民意識調査の担当課で表現を変更してしまったとのこと。

上記の表現変更に伴い、質問の趣旨が変わり（この点については、自由意見にも記載あり）、数値が20%以上増減してしまったため、参考値とします（※趣旨は重要）。



問 16-1 【自由意見（抜粋・分類）】

「相談、支援の環境等について、ご意見等がありましたら、自由にお書きください。」

【相談先】

○	私達の年代の人達は、介護についてよくわかっていません。親の面倒を見ながら「どうしたらいいのだろう？」と思い悩んだ時に、どこへ相談したらいいかわからず不安をかかえ、迷っている方が多いです。まず、最初にどうしたらいいのか、目安や相談先をもっと知らせてほしいです。
○	相談にいったって意味がない。わかりにくい。不親切。
○	実際に相談したいと思ったことがないので、どこに相談したらよいか分からない（2つ）。
○	どの施設にどの相談をするべきなのか知らない。
○	老後、何かあった時の窓口を案内してほしい。
○	支援センターなどは回覧で見ますが、本当に必要としている人に相談できる場がある事を知ってもらうために、活動内容を広げるなどして気軽に足を運べるように、相談する側はすごく勇気がいる一歩かもしれないので。
○	相談するところがある、という事を知りません。何かが起こった時に、どこに相談したらいいかわからない。
○	相談できることを知らなかった。
○	どこでどのような活動をしているかわからない。
○	都内に勤めていると、全部都内の福祉サービスが進んでいるように見えてうらやましいという気持ちになる。地域包括支援センターについては、なかなか相談できる時間帯が合わず、初回はとまどった。
○	西部保健センターへ行ったとき、無愛想で相談したくないと感じた。
○	相談に行っても弁護士 1 名いるとの事でしたが、相談はできず民生委員経験者の方らしき人が応じられたことがあり、二度と利用しない。
○	窓口をいくつも用意する必要はなく、生活、暮らしの上での困りごとがあったら〇〇へお出てください。でよいと思う。後は、行政で引き取り専門のところに引き継いでゆけば効率がよい。窓口の方は話を受け理解し、適切に継ぐ総合力が必要と思います。
○	どんな時にどこへ相談したらいいかわからない。親身に相談にのってもらえるか不安。
○	以前、支援センターに相談に行ったことがありますが、個人的には何も得るものがなかったのでとてもがっかりした思いがあります。
○	相談役に医療施設等への紹介をしてほしい。

【高齢者】

<input type="radio"/>	昨年亡くなった母の介護の時には、地域包括支援センターには大変お世話になりました。担当の方、良い方で助かりました。
<input type="radio"/>	夫が認知症になり、包括センターを利用しようと思う。本人はまったくそう思っていないので。
<input type="radio"/>	地域包括支援センター（※2件）
<input type="radio"/>	包括に行ってケアマネをお願いしようとしたことがあったが、手いっぱいだと断られた。
<input type="radio"/>	高齢者の場合は地域包括支援センターが相談にのってくれました。
<input type="radio"/>	認知症専用老人介護施設の充実（特養の他に）
<input type="radio"/>	ご近所に一人暮らしの高齢者が多くなり、助け合いといっても、助ける若い世代が圧倒的に少ない。ご近所の一人くらいは助けられるが、家族もいるので(香取市に高齢の両親がいる)行政の支援を厚くした方が良い。
<input type="radio"/>	介護のことで相談に行ったけど、たらいまわしにあったように思う。
<input type="radio"/>	以前、父母が生存していた際は地域包括支援センターを利用し、ケアマネの方、デイサービス先などいろいろお世話を仲介して頂いて助かりました。

【障害】

<input type="radio"/>	親が体が悪いため、親の死後、地震がおきた時等避難した場合、障害者同士で支え合いが出来るのか心配しています。どこへ相談すれば良いでしょうか。教えてください。
<input type="radio"/>	軽い知的障害があり将来が不安ですが、生活が共同ででき、又支援していただける体制があればと、いつも思っています（母）
<input type="radio"/>	市役所の障害者用の窓口ぐらいいしか相談できる場所はありません。

【子ども】

<input type="radio"/>	自身は今後結婚・出産を迎える予定だが、保育園に入園させることが困難であってはいけないと思うし、援助金等しっかり用意がある状況であれば住み続けたいと思う。
<input type="radio"/>	子育て支援のさらなる充実を願います。予防接種の費用負担の助成ができる種類を増やすことや対象者の範囲を増やすこと、手当の充実等検討の余地はまだあるのでしょうか？

【教育】

<input type="radio"/>	子供の進学・路の事などの色々な選択肢を早目に教えて欲しい。
<input type="radio"/>	学校から相談窓口のお手紙やカードを配布され、利用したことはないが、市で取り組んでいることがよくわかった。
<input type="radio"/>	息子のいじめで登校拒否になり、どこに相談してよいかこまった。

【ひきこもり】

- 30 歳代後半の男性の息子さんが家庭内に引きこもり、(母親・息子さんの二人暮らし)の家庭があるがどうしたらよいのか分からない。

【民生委員】

- 広報がない。民生委員が誰か分からない。

【地域】

- 自治会事務所に相談します。(とりあえず)
- 自治会副役員を 5 年務めています。有るの際に障害者の方々の扱いがわからない事と、その様な方がどこに住んでいる情報も無し。上記のサポートセンターが率先して支援していただきたい。
- 現状では自治会や地域ボランティアに頼っているように見える。
- 自費で、花の苗で整理してらした。清掃もよく整理も良くされ、ボランティアも大変だ。

【個人情報】

- 個人情報となる部分を、信頼できるかどうか分からない方に話すのは抵抗がある。

【情報発信】

- 佐倉市のホームページから、相談窓口がさがしづらい。相談場所の写真などが載っていると分かりやすいのでは？。
- どこに相談したら良いのか分かりやすくして欲しい。
- 相談先があることに地域の方が、わかっていない人の方が多いと思う。どの様な支援があるか改めて、わかりやすい説明もしくは担当の人が誰か知らせてほしいと思います。
- 特に私のような若者世代は、こうした相談機関への関心が低いから、存在自体を知らない場合も多いと思います。若者世代にもこうした機関の存在を教えることもいいのではないかと考えました。
- 各支援センターがなにを担当しているのか知らない。転入者の自分には施設の場所もわからない。身近なものという感覚がないので見向きもしない。
- どこになにがあるのか分からない
- 相談できる環境ではあると思うが、周知できてないと思います。特に現役で働く会社員、パート、アルバイトの方々は情報を中々得られる環境にはいないと思います。
- あまり制度を知らない
- どの組織が何を目的に作られたのかよく分からない。主な相談機関等についてこれを

	機会に市民の方々に設立目的等や相談の方法等を分からせるべきだと思います。
<input type="radio"/>	広報等で皆に分かりやすい状況を作り出すことが必要。比較的市民に対してこのような場所があるという事を知らしめる必要があると思う。老人が一人暮らしで亡くなった事例も近くであった（ガン）
<input type="radio"/>	市政が開かれている様に感じられない。宣伝、PR がされていない。（伝わってこない）
<input type="radio"/>	充実しているなら、もっと広告をしないと他に住民が流れていってしまう。
<input type="radio"/>	支援など人づてに聞いて、そんなことあるんだと思うことがあった。発信力がないと思う。
<input type="radio"/>	相談場所等のPR が不足！

【全般】

<input type="radio"/>	特になし。現在のままで可
<input type="radio"/>	夫が病気で働けない身体の為、働くことも出来ず収入もありません。私はコロナ禍でパートの仕事も奪われ困っております。このような状況で役所からは税、国保と延滞金の上乗せばかりで、期日を迫られ生活しております。私一人の力では介護もできません。どなたか私を導いてくださる方が今一番必要です。
<input type="radio"/>	自立した独居生活者には、声かけなく、気軽に相談できる所があると良いが。難しいですネ。
<input type="radio"/>	問 16 についての質問が変だと思います。現在、相談や支援が必要な状況ではありません。
<input type="radio"/>	考えたことがない（必要に迫られていない）のでわからない。
<input type="radio"/>	訪問してくださると助かります。
<input type="radio"/>	現状支援の必要性があまりないので検討していない
<input type="radio"/>	草の根のごとくこまった人がいる様だと上からたずねてほしい。
<input type="radio"/>	支援環境等がよくわからない。
<input type="radio"/>	相談機関の仕組みが分かっていないため
<input type="radio"/>	なかなか、支援窓口に到達するまでに時間がかかる。 防災ガイドブックのように、相談・支援窓口がまとめられた冊子が配布されると有り難い。
<input type="radio"/>	あてにしていない。
<input type="radio"/>	相談や支援がまずどこで受けられるのかさえ知らない。以前市役所に相談に行った際も、あまり病気や障害の事を相談できる人がいなかったため結局何も相談できずに帰った。障害や病気を持つ方々が集まるサポートグループのようなものがあってほしいと願う。
<input type="radio"/>	逆にどのような支援を目指してらっしゃるんですか？心の支えなら交友関係でなん

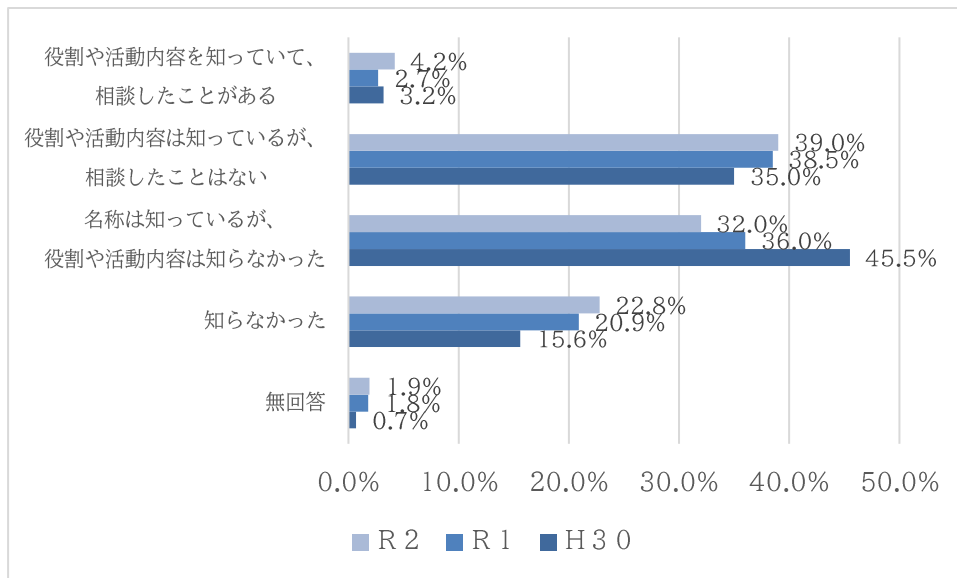
	とかなるかもしれませんが、子育てマザーが本気で心や体をリフレッシュさせようと思ったらお金でしか解決できないと思います。
<input type="radio"/>	相談要な困り事がないのでわからない
<input type="radio"/>	特にありません
<input type="radio"/>	相談、支援を、必要とする事態に幸い現在は至っていない。
<input type="radio"/>	現在、相談事なし
<input type="radio"/>	相談を必要とする状況にないので、問 16 の問題は保留
<input type="radio"/>	特にありません
<input type="radio"/>	支援を望まない場合もある
<input type="radio"/>	今はいいけど、病気になった時、どうするか
<input type="radio"/>	主な相談センターがどこにあるかわからないし、わかりにくい。又障害者でもないのに、いつもは自転車にのって動き回っているのに、年の関係で障がい者扱いされて、市の福祉のボランティアにより週に何回かどこに行くか分からないけど車で向いにきて楽しんでいる人がいる。税金のムダ使いと思う。

【その他】

<input type="radio"/>	相続も含め…相談には行ったが聞いてはもらえたが結論がでない。
<input type="radio"/>	消費生活センター等の利用をしやすいしてほしいです。
<input type="radio"/>	誰でもが集う場等にボックスの様なのがあったらどうかしら…。 地域はもちろん子供～大人～老人等々気軽に"声のボックス"ってのはどうかしら。
<input type="radio"/>	生活保護の規律に対して疑問？

問17

「民生委員・児童委員は民生委員法・児童福祉法に基づき、自らも地域住民の一員としてその地域に住み、主に高齢者、児童などの見守りや住民と行政とのつなぎ役を担っていますが、民生委員・児童委員の役割や活動内容を知っていますか。」【1つ選択】



問18

「お住まいの地域を担当する民生委員の名前を知っていますか。」【1つ選択】

